

「With コロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人名・団体名	ジード株式会社
(法人・団体の場合)	代表者名：取締役 CEO 澤田高志
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団をいう。）	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸（○）を記入してください。			
	未来デザイン部門	<input type="checkbox"/>	未来テクノロジー部門

アイデア名	超小型モビリティ：ZieD-C1R で人と人、人と社会のつながりを創出
-------	-------------------------------------

提案の概要（200字以内）
外出を躊躇される高齢者や交通弱者の方々も、超小型モビリティで気軽に愉しく外出！

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
色々な方が安全に操作できる超小型モビリティが日々の暮らしに必要です。弊社は、世界最小の二人乗り超小型モビリティ開発を、2011年1月スタート、自動ブレーキなど安全装置を搭載し、2018年4月から公道耐久テスト（1人乗りミニカーでナンバー取得）、現在6100km以上走行中。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由
ビジネス化の基本課題は、「運用管理する事業体と仕組み、経済的な合理性の実現方法」です。

提案の詳細 ※様式自由
ZieD-C1R の活用提案を、別紙 PDF ファイルにて添付します。モビリティを運用&管理する事業体の仕組みとコストが課題です。どれだけの費用対効果を見込めるか？が、鍵です。ただ、団地などの大きなコミュニティで超小型モビリティを活用し、人と人のつながりを創出することは、単純なコスト計算で計算できない別次元の効果を創出します。小さなモビリティの活用で、楽しい住民が暮らす、楽しい街を実現することです。 神奈川県民の幸せ(QOL)創出の為に、弊社のモビリティでお役にたちたいと存じます。

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡張して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル（ワード又はPDF形式）で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。